

# 保証規定

## ■保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

- 1.保証期間:**製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
- 2.保証内容:**保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
- 3.適用除外:**保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
  - (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
  - (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
  - (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
  - (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
  - (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
  - (6) バックイン、オリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
  - (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
  - (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
  - (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
  - (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
  - (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用した場合の故障。
  - (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。  
・ホース類      ・各種バックイン類      ・コード類

- 4.補修部品:**補修部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

## 株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号  
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>  
E-mail [sales@yamadacorp.co.jp](mailto:sales@yamadacorp.co.jp)



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所  
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202206 HRS025U

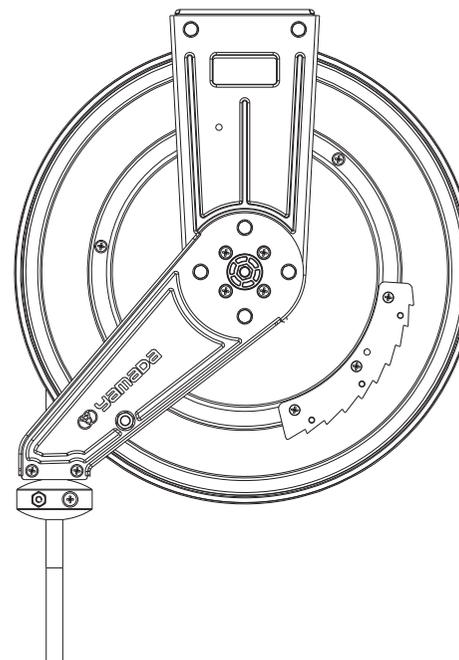


Doc.No. HRS 025U-03

## 取扱説明書 ホースリール

### 型式

〔エアリール〕  
687095 YSR-3A15  
686975 YSR-4A15  
〔水リール〕  
686976 YSR-4W15  
〔高圧温水リール〕  
686977 YSR-3WH15  
〔オイルリール〕  
686978 YSR-3G10  
686979 YSR-4G15  
〔グリスリール〕  
686980 YSR-3C15



## INDEX

はじめに	2
安全上のご注意	2-3
製品内容の確認	4
各部の名称と役割	4
ホースリール仕様	5
設置方法	6-7
ご使用方法	8-9
メンテナンス	10
故障と処置	11
保証規定	12



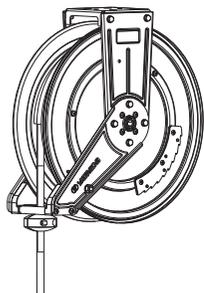
警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

# はじめに

このホースリール取扱説明書では、ご使用にあたって注意していただきたいことや、基本的な使い方、および、より有効に活用する方法を、説明しています。ホースリールを正しくご使用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みください。読み終わった後は、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。



## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

この表示の注意事項を守らないと、破裂・破損などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。

### 注意

この表示の注意事項を守らないと、破裂やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



注意

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

## 行為を指示する記号



指示

# 本製品を正しく安全にご使用いただくために

安全上のご注意

## 警告

当社の製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、破裂や破損などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 故障したら使わない

すぐに使用を中止し、お買い求めの販売会社に修理をご依頼ください。

## 万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、製品や付属品が破損したとき

- ① 工具や機器を安全に外す。
- ② リールへの供給を止める。
- ③ 使用を中止して、お買い求めの販売会社に修理をご依頼ください。
- ④ 修復を完全に行うまでリールのご使用を中止してください。

## 警告

注意 下記の注意事項を守らないと破裂・破損などにより死亡や大けがの原因となります。

### 取扱説明書をよく読み理解したうえで使用する

誤使用により、思わぬ事故の可能性があります。



指示

### 本機は屋内仕様です

屋外で使用しないでください。さびや腐食などで火災や故障の原因となることがあります



指示

### 製品仕様以外の流体は使用しない

リールの仕様に定められていない流体は使用しないでください。故障や異常動作の原因となることがあります。



禁止

### 油煙、湯気、湿気、水気、ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、故障や破損、けがの原因となることがあります。



禁止

### ホースを有機溶剤で拭きとらない

ホース表面状態の変化により乱巻きや劣化の原因となることがあります。



禁止

### ホースを傷つけない

ホースを傷つけると、破裂やけがの原因となることがあります。



禁止

- ホースを加工したり、傷つけたりしない。
- ホースを無理に折り曲げたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ホースを接続した機器から抜くときは、安全に注意してください。

万一、ホースが傷んだら、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売会社に交換をご依頼ください。

### 内部に異物を入れない 外装に水、オイルや異物を付着させない

内部に異物が入ったり、外装に塗装ミストなどの異物が付着すると故障の原因となることがあります。万一、異物が入ったときは、すぐに接続された機器を外して、お買い求めの販売会社に点検・修理をご依頼ください。



禁止

### 分解、改造および修理技術者以外による修理はしない。

内部には圧力の高い部分があり、本体をむやみに開けたり改造したりすると、故障や異常動作の原因となることがあります。

製品には強力なゼンマイが内蔵されています。部品等が弾けて、けがをするおそれがあります。

内部の点検、修理はお買い求めの販売会社にご依頼ください。



分解禁止

### 必ず仕様を守り、最高使用圧力を超えて使用しない

製品の仕様をご確認のうえ、ご使用ください。リール本体、ホースおよび接続された機器が破裂や故障するおそれがあります。

接続された機器が正しく動作しない場合があります。



禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付場所の強度も十分にお確かめください。



禁止

### 直接日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



禁止

### 作業時は保護メガネをかけて作業してください

不測の事態により、加圧された流体が眼に入ることがあります。



指示

### 警告ラベルは大切に使用してください

はがれや汚損、劣化された場合はお買い求めの販売会社からご購入のうえ、正しく貼付してください。



指示

### 子供や幼児の届かない場所に設置する

ケガや事故の原因となります。



禁止

# 製品内容の確認

箱の中に同梱品(本体、付属品)がすべて揃っているか確認してください。



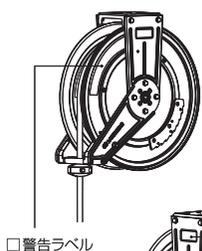
■お手元に届きました製品は、付属品を除き、完全に組み立てられています。取り付け前にリール本体の仕様と損傷の有無、付属品の欠品の有無を確認してください。

■警告ラベルは大切に使用してください。はがれや汚損、劣化された場合はお買い求めの販売会社からご購入のうえ、正しく貼付してください。

☑ チェックすると便利です。

## ●本体

本体



警告ラベル

## ●付属品

取扱説明書



1冊

取付ベース板



1個

ジョイントホース



1本

ボルト (M12×25mm)



4個

ボルト (M10×25mm)



2個

スプリングワッシャー (M12)



4個

スプリングワッシャー (M10)



2個

平ワッシャー (M12)



4個

ナット (M12)



4個

ナット (M10)



2個

ソケット



水リール :1個

グリスリール用アルミワッシャー



グリスリール:2枚

グリス用特殊ニップル



グリスリール:2個

ニップル



エアリール:1個  
水リール :2個  
高圧温水リール:1個  
オイルリール:2個  
グリスリール:2個

# 各部の名称と役割

## 本体ベース

本体の支えと、リール本体を天井や壁面に固定します。

## 警告ラベル

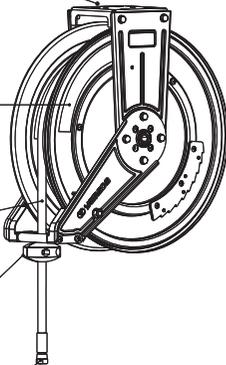
危険を告知し、安全な使用を促します。

## ホース

## ストッパーゴム玉

ホースの戻り位置を調整します。

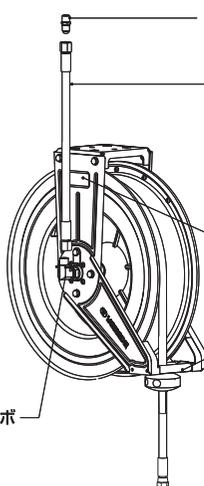
## ホース先端金具



## 接続用ニップル

ジョイントホースと配管を接続します。

ジョイントホース  
流体をリール本体に供給します。



## 型式シール

ガイドローラー  
ホースと本体との摩擦を緩和します。

## スイベルエルボ

# ■ホースリール仕様

製品名	エアリール		水リール	高圧温水リール	オイルリール		グリスリール
製品番号	687095	686975	686976	686977	686978	686979	686980
型式	YSR-3A15	YSR-4A15	YSR-4W15	YSR-3WH15	YSR-3G10	YSR-4G15	YSR-3C15
使用流体	エア		水	高圧温水	オイル		グリス
設置場所	屋内						
ホース材質	ウレタン		塩化ビニル	合成ゴム			
使用ホース	ブレードホース			シングルワイヤーブレードホース			ダブルワイヤーブレードホース
ホース内径(mm)	8	11	13	9.5		12.7	9.5
ホース全長(m)	15			10		15	
ホース先端金具	Rc3/8	Rc1/2	G1/2ユニオンメスシート	G3/8ユニオンオスシート	G3/8ユニオンメスシート	G1/2ユニオンメスシート	G3/8ユニオンメスシート
先端付属金具			ニップル: R1/2 ソケット: Rc1/2	ニップル: R3/8		ニップル: R1/2	ニップル: R3/8 ニップル: G3/8×G1/4
ジョイントホース接続形状	G3/8ユニオンメスシート		G1/2ユニオンメスシート		G3/8ユニオンメスシート		G1/2ユニオンメスシート
ジョイントホース全長(m)	1						
接続用ニップル	R3/8		R1/2		R3/8		R1/2 ニップル: R3/8 ニップル: G3/8×G1/4
最高使用圧力	1.4MPa		0.5MPa	14.0MPa	7.0MPa		
使用温度範囲	-5~50℃		0~50℃		-5~50℃		
ホース使用温度	-30~60℃		-10~60℃		-40~100℃		
本体重量	14.2kg	15.9kg	17.6kg	19.9kg	17.2kg	21.9kg	22.6kg
標準付属品	取付ベース板一式・ジョイントホース一式						

・改良のため仕様など予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

# 設置方法

この項の設置方法は、リール取付および接続を行う工事会社の方を対象にしています。

## ■設置に必要な道具

- 高所作業リフトまたは安定した足場
  - モンキーレンチ ●プラスドライバー
  - スパナ (13/19/22/24/27mm) ●シールテープ
- ※サイズは機種に応じて

**警告** 下記の注意事項を守らないと破裂や破損などにより死亡や大けがの原因となります。

### ■組立・設置の際、作業者が取るべき安全対策を徹底してください。

- ・リールの取り付けが高所作業になる場合は、必ず安全ヘルメットを着用し、落下防止の安全帯を使用してください。
- ・リールの取り付けにハシゴや脚立の使用はしないでください。必ず安全に作業できる高所作業リフトや足場を設置してください。リールおよび作業工具の落下防止を図ると共に、作業中は取付場所の真下への立ち入りを禁止してください。

### ■設置(据付)および移設について

- ・本製品の設置(据付)および移設はお買い求めの販売会社へご相談ください。移設の場合は販売会社による点検を実施してください。
- ・設置場所は十分な強度を確保し、落下・揺れなどがないよう十分考慮してください。
- ・取付場所付近まで供給元の配管等の施工を行ってください。施工は、ジョイントホースの長さ・接続金具のサイズを5ページの「仕様」でご確認いただいた上で、ホースに余裕ができる位置をお願いいたします。
- ・接続部分にはバルブ等供給を止めることができる仕様を推奨いたします。

### ■不適当な組立・設置についての警告

- ・ジョイントホースは、配管等に確実に締め込んでください。
- ・接続が不十分だと、水漏れやホース抜けの原因となります。
- ・取付ベース板にリールを差し込み後は、必ず付属の取付用ボルト、スプリングワッシャー、ナットでリールを固定してください。
- ・リールの固定を忘れると、リールの落下など重大な事故の原因となります。

### ■使用圧力についての警告

- ・最高使用圧力以上のご使用は絶対に行わないでください。破損したり、事故の原因となります。

### ■揮発性可燃物の近くには設置しない

- ・冬季乾燥時期等に、ホース摩擦により静電気が発生し、火災の原因となる恐れがあります。

### ■本機接続前に必ずエア配管内の清掃を行ってください

- ・ホース等の損傷または配管内のゴミによって、ケガ等の恐れがあります。

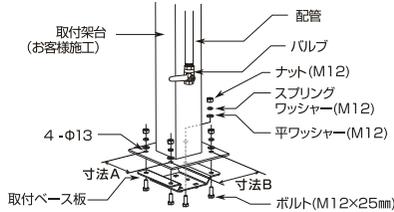
### ■供給エアは水分を除去したエアを使用してください

- ・水分によりホース等の劣化を早めます。

## ■天井取付の場合

●記載された取付場所および接続方法は一例です。

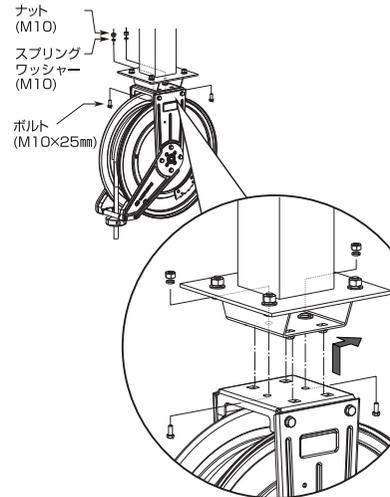
1. 取付ベース板を取付場所に固定するときは十分な強度を確保し、落下しないようボルト、平ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで確実に固定してください。



寸法	寸法A	寸法B
サイズ	125	157

■固定した後は、しっかりと固定できているかを再度確認してください。

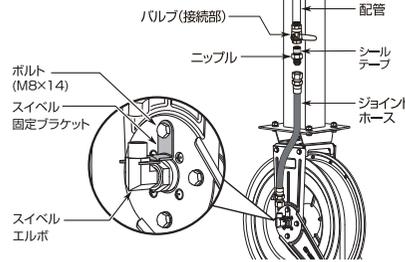
2. リールの四角穴にあわせてスライドさせ取付ベース板に差し込み、ボルト、スプリングワッシャー、ナットで確実に固定してください。



■固定した後は、しっかりと固定できているかを再度確認してください。

リール取付場所に、供給配管の施工および取付架台をご準備ください。製品には取付ブラケットは付属されていません。別途取付ブラケットなどが必要な場合は、お買い求めの販売会社にお問い合わせください。

3. 配管の接続部にニップルを取り付けてください。次にジョイントホースを、ニップルとスィベルエルボ間に接続します。その際、スィベルエルボを4か所ある六角ボルト(M8×14)の中からホースに負荷(ねじれ・曲がり)がかからないよう接続できる方向に変更し、スィベル固定ブラケットで固定してください。



- ジョイントホースを接続する前に必ず配管内の清掃を行い、配管内部の異物を取り除いてからホースを接続してください。
- スィベル固定ブラケットは必ず固定してください。ジョイントホースのねじれ・曲がりの原因になります。

ニップルにはシールテープを巻きます。シールテープは配管を接続する側のみ必要です。

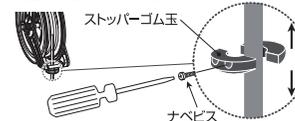
- シールテープの巻き方 -



4. ホース先端金具に、仕様に合わせてカプラ等の接続金具を取り付けた後、バルブを開いて供給してください。漏れがないかどうか確認し、漏れがあった場合には、直ちに供給を切り、各接続部を点検してください。

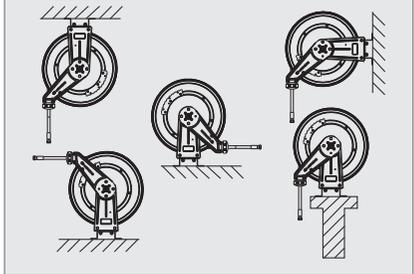
■漏れの無い事を確認

5. 最後に、ストッパーゴム玉を使用状況に合わせて調整します。ストッパーゴム玉の固定ビスをゆるめ、希望する長さの位置にストッパーゴム玉を移動させて調整してください。その後ゆっくりと全引き出し/全戻しを行い、動作に問題がないか点検してください。これで取付完了です。



## ■設置方向のバリエーション

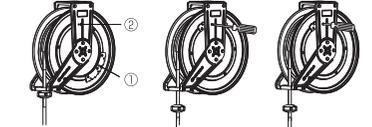
●アームの向きを変更することにより5方向の設置が可能です。



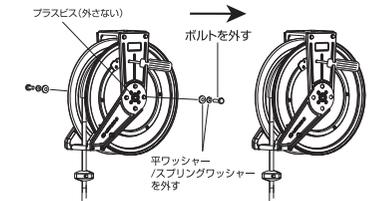
### アーム方向の変更

●アームの固定位置を90°毎ボルト固定することで、方向を変えることができます。

1. リール本体を固定してから作業を行ってください。ホースを引出し、ラチェットホイールの穴①がガイドプレート②に重なる位置まで回転させ、ドライバーを差し込んでドラムを固定します。

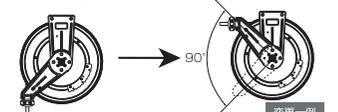


2. ガイドアームを固定している両側の六角ボルトを外します。(注意: プラスビスは絶対に外さないでください。)



3. 中心部のプラスビスをよけるように、ガイドアームの中心部を少々広げながら90°ずつ回転させて固定することができます。

(注意: ドライバーがしっかりかかっていることを確認し、ドラムが回転しないよう注意してください。) 使用状態に合わせてアームを回転させ再度六角ボルトで固定してください。ボルト固定完了後にホースを少し引出し差し込んだドライバーを抜き、ホースを元の位置に戻して作業は完了です。



変更一例

# ご使用方法

## 警告



下記の注意事項を守らないと事故・火災などにより死亡や大けがの原因となります。

### ■始業点検および終業点検を説明書の本文に従って必ず実施してください。

特にホースの損傷・歪み・変形・摩耗および汚れがないことを確認してください。

### ■ホースリールを仕様以外の目的に使用しないでください。

目的以外の使用は、本体の破損や故障の原因になり、けがや施設・設備等の損傷をまねくおそれがあります。

### ■ホースには絶対ぶらさがらないでください。

リールの落下、本体の破損や故障の原因になり、けがや設備等の破損をまねくおそれがあります。

### ■ホース出口の中には絶対に手をいれないでください。

大けがをするおそれがあります。

### ■メンテナンスを行ってください。

日常のお手入れや定期点検を行ってください。



表示

### ■ホースに負荷のかかる使用は避けてください。

本体やホース破損や故障の原因になります。



禁止

### ■最高使用圧力を超えて使用しないでください。

ご利用前には、各リールの最高使用圧力を必ずご確認ください。(P5の「ホースリール仕様」をご参照ください)



表示

### ■凍結に注意

水、高圧温水リールにて凍結の恐れがある場合には、まず供給バルブを閉じ、ジョイントホースの接続を取り外してください。次にリール内のホースを全部引き出し、ホース先端の接続機器を開放にしてエアなどを吹き込んで水抜きしてください。



表示

### ■その他の注意

使用方法などで不明な点のある場合は、使用を中止し、お買い求めの販売会社へお問い合わせください。また、リール本体やホースに異常が見られる場合は使用を中止してください。



表示

## ■下記の点に留意し安全な作業をお願いします。

## 1. 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

点検箇所	内容	点検方法
ホース	漏れはないか	目視/聴取
	変形・破損・摩耗はないか	目視
	汚れ(水・油・泥)はないか	目視/掃除
	引き出し・巻き取りはスムーズか	目視
接続金具	緩み/漏れはないか	目視/聴取
	変形・破損・摩耗はないか	目視
	汚れ(水・油・泥)はないか	目視/掃除



## 警告

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリールの使用を中止して直ちにお買い求めの販売会社にご連絡してください。そのままお使いになるとリールの破損および重大な事故につながる危険性があります。

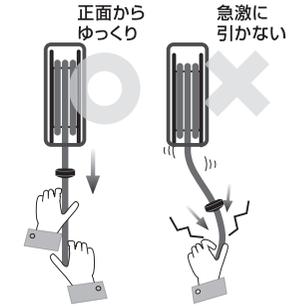
## 2. 終業点検

作業が終了したら、ホースや接続金具に付着した汚れ(水・ゴミ・油など)をきれいに拭きとってください。この時何が異常が発見された場合、直ちにお買い求めの販売会社にご連絡してください。作業終了後は、供給側配管のバルブまたは元栓を閉じ、リール内の残圧を全て無くして終業してください。



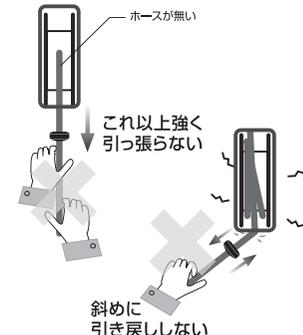
## 3. 引き出し操作

ホース出口に対し正面に立ち、両手でホースを掴んで希望する長さまでホースをゆっくり引き出します。ロックがかかったことを確認してから手を離し、使用してください。もしその位置でロックがかからない場合には、さらに20~105cmゆっくりとホースを引き出してください。ロックがかかります。



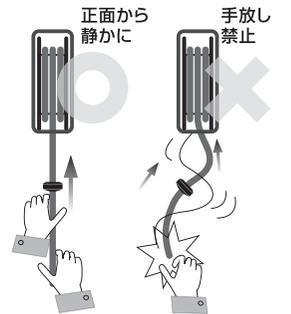
- ホースを引き出す際には、必ずリール正面から静かに引き出してください。リール横方向に引くと本体に負荷がかかり、ホースやリール取付部が破損し落下するおそれがあります。
- ホースが無い状態では(いちばん最後)それ以上強く引くべきではありません。 ※強く引かなくてもロックは外れます。
- ホース先端に取り付けた器具を引っ張らないでください。ホースが折れ曲がりやすくなります。折り曲げた状態での引き出し操作は行わないでください。また、器具破損の原因にもなります。
- 使用中、ホースによるつまずき、からまりに注意してください。

## 注意



## 4. 巻き戻し操作

使用后、ホースを巻き戻す時は、ホース出口に対し正面に立ち、両手でホースを掴み、再び5~30cm ゆっくり引き出します。ロックが外れたら、ホースに手を添えて送り込むように、ゆっくり巻き戻してください。



- 急激にホースを巻き戻すと体や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。
- 急激にホースを巻き戻すと、ホースの乱巻き\*の原因となります。
- ホースを巻き戻す際には、必ずリール正面から静かに巻き戻してください。リール横方向から戻すと、ホース先端が体や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。

乱巻き: 本製品のカバー内でホースが絡まり、引き出し操作や巻き戻し操作に支障が出る状態です。

## 注意

## 5. その他の注意

■リール本体やホースの破損、落下、故障のおそれがあります。下記のような使用は絶対に避けてください。

## 注意

- ホースを急激に曲げない。
- ホースを急激に引っ張らない。
- ホースを高温・高熱の物に近づけない。
- ホースを工具や設備等で挟まない。
- ホースを車両や重量物の下敷きにしらない。
- ホースおよび本体に水やオイル、床洗浄剤、塗装ミストなどを付着させない。
- 本体に衝撃を与えない

# メンテナンス

## ■日常のお手入れ

- 定期的にリール本体の損傷、固定や接続の緩みがないか点検してください。
- ホース・接続金具・カブラ等に汚れ(水、ゴミ、油など)が付着した場合は、きれいに拭き取ってください。
- ホース清掃の際には、パーツクリーナー等、脱脂作用のある溶剤またはスプレーなどで拭き取らないでください。  
ホース表面状態の変化により乱巻きや劣化の原因となります場合があります。万一、脱脂作用のある溶剤またはスプレーでクリーニングしてしまった場合は、シリコン系スプレー等の潤滑剤をホースに薄く塗布してください。
- 使用中、ホースが引き出しにくい、または戻りにくい場合、シリコン系スプレー等の潤滑剤をホースに薄く塗布していただくとスムーズになる場合があります。
- 作業前/作業後にホースの点検を行い、局所的な伸び、膨れ、湾曲、キズ、ひび割れ、硬化などがあった場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売会社へご連絡ください。

## ■定期点検 専門家による定期点検のおすすめ

- 定期点検については、別途専門家による点検の制度がありますので、ぜひご利用くださるようおすすめします。詳しくはお買い求めの販売会社へご相談ください。

# 故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。異常が生じたときはこの取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検を行ったうえで、それでも改善されない場合はお買い求めの販売会社へご相談ください。

症状	原因	処置
供給物が出ない	バルブが閉じている	→ バルブを開ける
	供給元が運転していない	→ 供給元を確認してください
	凍結している(水/高温温水リール)	→ 氷を溶かしてください
吐出圧力が低い	供給される圧力が弱い	→ 供給元圧力をご確認ください
	ゴミづまり	→ 接続金具部を調べる
	接続カブラの不良	→ カブラの交換 販売会社へご相談ください
漏れ	ホースの破損	→ ホースの交換 販売会社へご相談ください
	内部Oリング・Vパッキンの摩耗	→ Oリング・Vパッキンの交換 販売会社へご相談ください
	接続金具・継手の不良	→ 販売会社へご相談ください
ホースが巻き戻らない	ホースの乱巻き	→ ホースを全て引き出し、手を添えてゆっくり巻き戻す
	ゼンマイの破損	→ 販売会社へご相談ください
ホースが止まらない	ラチェットの破損	→ 販売会社へご相談ください